

# 『筑南小・中学校のあり方を考える会』便り 第1号

筑南小・中学校のあり方を考える会 会長 大石 官

このチラシは、筑南校区（白木・北山地区）の皆様には配布しています。

## 【会長挨拶】

「筑南小・中学校のあり方を考える会」の発会にあたりご挨拶を申し上げます。

まず、発会にご尽力いただいた筑南小・中学校PTA会長OB会の皆さん、白木・北山地区地域振興会議の現会長さん・現事務局長さん、白木・北山の現区長さん方に感謝申し上げます。また、「考える会」（略称）に結集いただいた各種団体の代表の方々に深く感謝申し上げます。

この間の皆様方の子どもたちの将来や教育や教育環境のあり方、地域の活性化等への思いや関心の高さに驚き、敬服いたしております。この会は端的に申しますと、県道4号線沿いの白木・北山谷における義務教育（小学校・中学校）のあり方を地元民（白木・北山の全住民）として、どのように考え、よりよき方向を「考える会」です。

十数年前の立花町時代、この問題は全町を挙げて論議を重ね、結果として10年ほど前に現在のような筑南小学校・筑南中学校の体制になったことは皆さんご存じのことです。あれからちょうど10年、過疎化・少子化はとどまらずさらにスピードを上げています。

この様な中、PTA会長OB会の方々の危機意識をこの会の原動力とし、白木・北山地区の隅々から考え方や意見の集約が出来るように、あらゆる団体や地域の代表の結集をお願いしたところです。

関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしましたがお陰様で、昨年末の12月25日、北山コミセンでの発会式を迎えることができました。尚、準備も不十分で慌ただしい中での発会式で、不行き届きの面も多かったかと思いますが、徐々に白木・北山地区の隅々に行きわたる「考える会」に成長させていただくことを願っています。ご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。

子どもたちの将来を見据え、**私たちが筑南小・中学校のあり方を考えよう**ではありませんか。

## 【この会の目的や活動内容】

1. 名称  
筑南小・中学校のあり方を考える会
2. 目的  
白木・北山地区の文化の拠点となる筑南小学校や筑南中学校の存続を含めた将来のあり方を検討する。
3. 会員（推進メンバー）  
裏面参照
4. 活動内容
  - ・児童・生徒数の減少に伴い、学校のあり方について検討する。
  - ・筑南小・中学校の学校運営に協力する。
  - ・地域を代表して、教育委員会への要望やあり方についての協議を行う。
5. 今後の活動計画
  - 2月21日（金） 運営委員会
  - 3月12日（木） 第2回「筑南小・中学校のあり方を考える会」

※ 第2回「あり方を考える会」（3月12日）を、午後8時より北山コミセンで行います。皆さんと一緒にあり方を考えたいと思います。ご参加をお待ちしています。

会員名簿

職	氏名 (白木)	氏名 (北山)
地域振興会議 会長	原 保	鶴木 昭義
地域振興会議 事務局長	入江 兼也	甲斐田照明
行政区長 (1区)	池田 政光	甲斐田照明
行政区長 (2区)	原 保	松崎 圭助
行政区長 (3区)	田中 啓嗣	大坪初次郎
行政区長 (4区)		松崎 敏征
区長	原 博充	古賀 昭生
区長	松尾 秀樹	杉本 嘉徳
区長	大久保稔男	谷川 雅啓
区長	橋本 健治	大塚 匠
区長	橋本 久敏	近見 輝幸
区長	原 博義	内野 卓夫
区長	下川 広実	原 知之
区長	原 稔文	三浦 洋
区長	入江 保生	川島 栄作
区長	原 典広	平島 高広
区長	入江 秀利	松尾 一秋
区長	田中 豊文	松崎 正洋
区長	田中 功	東 智廣
民生・児童委員代表	内川 芳夫	稲田 一男
主任児童委員	鎌田 章子	
消防団代表	平 宰	鶴木 倫紀
商工会代表	平 泰明	
J A 代表	田中 俊臣	朽網 貞子
安全協会	服部 一信	石橋 典夫
女性部代表	平 たけ子	朽網 敬子
幼稚園・保育園代表	高山 幸子 西原 希代子	
筑南小中学校長	山口 圭子 西見 宣浩	
筑南小中学校 P T A 会長	持丸征史郎 平古場 毅	
P T A 会長 O B 代表	久富義巳 松尾茂秋 佐伯隆二 原 寿晃	
顧問	橋本 正敏 鶴 繁樹	
アドバイザー	丸山 昌弘 矢加部尚美	

※会員は、年度途中でも追加及び変更があります。

運営委員

会長	大石 官
副会長	原 保 鶴木昭義
事務局長	大坪初次郎
実行委員	池田政光 田中啓嗣 甲斐田照明 松崎圭助 松崎敏征
	持丸征史郎 平古場 毅
	久富義巳 佐伯隆二 原 寿晃 松尾茂秋